

部課名		生涯学習部生涯学習総務課											
課の使命		・生涯学習部の総務担当課として、事務事業の執行計画の調整・進管理、連絡調整等を行い、組織が適切に運営できるようにします。 ・町田市固有の歴史資源(※)の保護・維持・管理に努め、市民がそれらに触れられる機会・場所の提供及び情報を発信することにより、市民が郷土への理解と愛着を深められるようにします。 ※歴史資源とは…文化財に限らず、地域の歴史を伝える資料の総称											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進 捗 状 況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評 価	評価の 視点	課題と対応
1	個別 計画 組む／ 施策 全庁 で取	まちだの歴史・文化を学ぶ機会の充実／「子どもにやさしいまちの実現」	・子どもたちが、町田市の歴史や文化を学ぶ機会を充実させるため、小中学校向けの、「出張歴史授業プログラム」に新しいプログラムを追加し、小中学校にPRをしながら、事業を実施します。 ・子どもや親子を対象とした歴史資源を活用した講座やイベントを実施します。	①出張授業実施件数 ②子ども向け講座・イベントの実施件数	①20件 ②3件								
2	個別 計画	歴史資源の保存・整備	・国重要文化財旧永井家住宅の耐震対策実施にむけて、耐震基礎診断を実施します。 ・昨年度整備が完了した国指定史跡高ヶ坂石器時代遺跡をはじめとした市内の遺跡を活用したイベントを実施します。 ・新たな「町田市史」編さんの際に重要となる4家の史料整理を進めます。	①旧永井家住宅耐震事業の進捗状況 ②遺跡活用イベント実施件数 ③新たな「町田市史」編さんのための重要史料群の整理率	①耐震診断完了 ②1件 ③70%								
3	個別 計画 ／ 施策 全庁 で取 組む	歴史資源の活用環境の整備／「シティプロモーション」	・まちだの歴史資源の見どころや講座・イベントを、市内外に広くPRする手法を検討し、実施します。 ・市内外問わず、多くの方が参加しやすい会場で、まちだの歴史資源を活用した新たな講座や展示を実施します。 ・町田市の歴史にいつでもどこでも触れられるよう、企画展のデジタル展示化や、子どもから大人まで幅広くご覧いただける歴史を学ぶ動画の作成等を行うとともに、町田デジタルミュージアムの利用状況を検証し、より幅広い世代に利用していただけるよう、公開内容の更新を行います。	①新たな手法によるPRの実施 ②新規アウトリーチ事業件数 ③デジタルミュージアムの更新	①実施 ②2件 ③更新完了								
4	個別 計画	学校施設活用の推進	地域の方々が学校を利用しやすい環境を整備するため、一部の学校において予約システム及びスマートロックを導入する他、学校施設が利用できることを広く知ってもらうため、個人でも参加できるイベントやスポーツ教室等を実施します。	予約システム・スマートロックの導入及びイベント等の実施学校数	2校								
5	人材 育成	「チームワーク志向」	専門分野の異なる学芸員間の知識の向上及び、緊急時の対策や課題を課内共有することによる職員のスキルアップを目的とした、講習会を開催します。	学芸員・職員講習の開催回数	6回								
6	事務 事業 見直し	効率的・効果的な資料及び展示室・収蔵庫の維持管理	自由民権資料館と三輪の森ビジターセンターの展示室・収蔵庫の適切な環境を維持するために実施しているIPM(総合的有害生物管理)業務の仕様内容を見直し、委託料を削減します。 2024年度に実施した対策により、害虫・微生物の数が低減したことから、これを維持する取組を行います。 また、職員間で専門知識の向上を図るとともに、情報共有を行うことで、効率的・効果的な維持管理が継続できるようにします。	委託料の削減割合	40%								

部課名		生涯学習センター											
課の使命		学びに出会う機会と学習成果をいかにす機会を提供するための中核施設を担います。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進 捗 状 況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評 価	評価の 視点	課題と対応
1	全 庁 で 取 り 組 む 施 策	「障がい者への差別を解消し共生社会の実現」	2025年3月に作成した「町田市障がい者青年学級事業実施要項(案)」に基づき、2026年度から障がい者青年学級を安全かつ公平に学習することができる事業として実施するための準備を進めます。 また、生涯学習センター運営協議会や事業関係者等の意見を聴取しながら、当該実施要項を作成します。	①実施要項案に基づいた事業実施体制の構築 ②実施要項の作成	①準備完了 ②実施要項の作成完了								
2	事 務 人 事 材 業 育 見 成 直 し	生涯学習センター窓口業務／市民志向	①2026年4月の業務委託範囲拡大に向け、委託内容の確定や業者の選定、契約、事業開始に向けた業者への事務引継等の準備を進めます。 ②業務の一部委託化によって市民サービスの低下を招かないようにするとともに、委託した業務の実施状況等を市職員が十分に把握・管理できるようにするため、事務手順や事務マニュアルの見直しを行います。	①2026年4月業務委託範囲の拡大 ②委託化する業務の事務手順・事務マニュアルの見直し	①業務委託範囲拡大に向けた契約等諸手続きの完了 ②見直し完了								
3	重点 事業 プラン	新たな学びの支援	デジタルデバイドを解消するため、デジタル初心者向けの体験講座を実施します。 また、デジタル機器の操作を習得された方向けに、ICTツールを活用する講座など、応用講座を実施します。	①デジタル初心者向け講座と応用講座の受講者のうち、学習成果を今後、活かせる と答えた受講者の割合 ②応用講座実施回数	①96% ②2回								
4	個別 計画	生涯学習のデジタル化の推進	対面型講座に参加することが難しい方に学習機会を提供するため、講座の一部を動画配信講座として実施します。	実施講座のデジタル化率	5%								
5	個別 計画	学びの循環とネットワークづくりの推進	①市民が学習成果を活かす機会を充実させるため、生涯学習ボランティアバンクを運営してきましたが、新型コロナウイルスの流行以降、利用が回復しないため、利用件数増加のための見直し向け、生涯学習センターを利用する団体を対象に、ボランティア講師の利用に関するニーズ調査を実施します。 ②2024年度に設置した相模原・町田教育連携プラットフォームを中心にリスキル・リカレントの機会の情報提供を開始します。併せて、リスキル・リカレント情報の収集先を拡大します。	①ボランティア講師の利用に関するニーズの把握 ②-1 リスキル・リカレント情報の提供開始 ②-2 情報収集範囲の拡大	①ニーズの把握完了 ②-1情報提供開始 ②-2収集範囲の拡大								

部課名		生涯学習部図書館											
課の使命		誰もが、必要とする知識・情報等を容易に入手することができ、安心して過ごせる環境を提供することで、人と人とがつながりあい知的で心豊かな生活の実現に寄与します。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進 捗 状 況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評 価	評価の 視点	課題と対応
1	重点 事業 プラン 直し/ 事務 事業 見	ワタシが主役 の図書館づくり	目的や用事がなくても気軽に過ごせる地域の居場所をつくることを目指し、地域と「共に創り」「共に運営する」施設として民設民営化されたつるかわ図書館コミュニティ施設「つるぼん」の運営を支援します。	①連携イベント実施回数 ②来館者数	①3回 ②69,000人								
2	重点 事業 プラン 直し/ 事務 事業 見	新たな図書館 様式推進事業	①電子書籍サービスの充実を図ることにより、暮らしの中で本に触れる機会を増やします。 ②更なる運営効率化と利便性向上のため図書館利用のオンライン登録、LINE利用を推進します。	①電子書籍の年間貸出 数 ②オンライン登録件数	①110,000タイ トル ②3,000件								
3	個別 計画	第五次町田市 子ども読書活 動推進計画 ／「子どもにや さしいまち」の 実現に向けた 取組	①「えいごのまちだ」事業を推進するため、外国語の絵本・児童書の整備・活用を進めます。 ②子ども・若者が読書や図書館に興味を持つよう、若者が参画するイベントを実施します。	①外国語の絵本・児童 書の貸出冊数 ②若者が参画するイベン トの実施件数	①16,000冊 ②3件								
4	人材 育成	「市民志向」	来館者の満足度を保つことができるよう職員の専門性を高めるため、図書館業務に関する研修を受講し、研修内容を図書館で共有します。	①研修実施回数 ②研修受講人数	①15回 ②165人								

部課名		生涯学習部図書館 町田市民文学館											
課の使命		”ことばの扉”として、子どもからお年寄りまで、あらゆる世代の人たちに、ことばや文字、文学の魅力に触れる機会、学びのきっかけとなる機会を提供します。 また、世代を超えて多様な考え方や価値観に触れ、コミュニケーションを図ることで、創造性を高め、豊かな心を育む場所となります。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進 捗 状 況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評 価	評価の 視点	課題と対応
1	個別 計画	「ことばの扉」 事業の推進	「ことば」の持つ力やその深さ、自由さ、大切さなどを感じてもらふことを狙った「(仮)ことばのかたち展」をはじめ、「ことば」や「文学」を柱とした展覧会を4回実施します。 若年層の利用増加を狙い、デジタルコンテンツの活用などを検討しながら、ことばや文学に関する事業を行います。また、小・中学校への出張授業など積極的にアウトリーチ事業を実施し、文学に触れあう機会を創出していきます。	①展覧会の観覧者数 ②アウトリーチ事業件数	①25,000人 ②26件								
2	事務 事業 見直し	歳入の確保、 低コストでの 事業の実施	歳入確保のための助成金申請や、歳出削減のための企業連携などを行い、市費負担を抑え事業を実施します。	①財源の拡充 ②企業などの協力による 市費負担を抑えた事業 の実施件数	①1件 ②3件								
3	個別 計画	つながることに 重きを置いた 事業の実施	ことばや文学を柱にしながら地域や人とのつながりを生み出す事業を実施します。学校と連携して実施する「ことばらんどショートショートコンクール」や町内会や商店会と連携し開催する「文学館まつり」など、学校や地域協力者、事業所等と連携しながら事業を実施します。	新たに学校や地域協力 者、事業所等と連携して 実施した事業数	1件								
4	個別 計画	中高生から20 代の若い世代 を対象とした 事業の充実	未来を担う若い世代にことばや文字、文学の魅力を伝えるため、文学に近接する分野を幅広く取り込んだ事業を実施します。 小・中・高校生を対象に「ことばらんどショートショートコンクール」を実施します。より多くの作品を応募してもらえようPR方法を検討します。	①10代・20代を対象にした 事業の実施 ②ショートショートコン クール応募件数	①8件 ②1,200件								
5	事務 事業 見直し	「ゼロカーボン シティまちだ」	事業広報に必要なポスター・チラシの一部を電子化し、紙媒体によるものを削減します。	ポスター・チラシの印刷 削減率(枚数)	15%削減 (28,000枚削減)								
6	人材 育成	「市民志向」	来館者の満足度を保ちより向上させるため所属職員に接遇等の研修を受講します。	研修実施回数	3回								